



豊里地域

Vol.01

学校再編だより

登米市教育委員会学校再編推進室
令和元年6月発行

TEL : 0220-34-2670

FAX : 0220-34-2504

Mail: gakkousaihen@city.tome.miyagi.jp

教育委員会では、これまで学校再編について、保護者や地域の皆様から座談会等を通して多くのご意見を頂いてまいりました。これらの意見等を踏まえながら、平成31年3月に「登米市立小中学校等再編構想」を策定し、今年度より、登米市の子供達のために学校再編の具体化について進めてまいります。

このお知らせは、登米市の学校再編についての検討状況等について、お知らせするためのものであり、今後も随時発行してまいります（市ホームページでもご覧いただけます。）。

学校再編に係る座談会を開催しました

5月15日から30日まで市内9町域で「学校再編に係る地域座談会」を開催しました。座談会には、小・中学校等の保護者や地域住民など合わせて236人が出席しました。

豊里地域については、5月28日に豊里多目的研修センターにて開催し、7人の方が出席しました。

座談会では、再編構想の内容や今後の学校再編の進め方について、保護者、地域住民の方それぞれの視点から多くの意見を頂きました。

今後は、地域ごとに「学校再編準備委員会」を設置し、「地域別再編実施計画」の策定を進めていきます。

座談会で寄せられた主な意見（豊里地域分）

Q 豊里地域での小中一貫教育の状況について、他の地域から質問を受けることがある。教育委員会ではどのような情報提供を行っているのか。

A 小中一貫校の導入について質問があった際は、小中一貫校にした場合でも、中学校の学校規模は改善されず、教科の免許外指導、部活動等の学校活動の制約といった課題が残されてしまう。単学級の中学校を地域に残すための小中一貫校の導入は考えていないと回答している。

Q 町域を越えた再編はありえるのか。

A 小学校の統合については、旧町域に1校は残すということで進めている。一部地域では統合したとしても単学級の解消までは至らないが、通学距離、時間を考慮すると小学校については町域を越えた再編は現段階では難しいと判断し、この様な考えに至っている。一方で中学校については町域内に1つとなると、先ほどの話にもあったが教員配置や学校活動で課題が残される可能性があるため、町域を越えた統合も検討していく。

Q 豊里地域は、要望がなければ当面は再編の対象としないということだが、学校再編準備委員会は設置されないということか。要望というのはこういったものを想定しているのか。個人からの要望か、団体からの要望なのか。

A 豊里地域については、地域に1つの学校であり、当面は適正規模を確保できる見込みとなっていることから、検討に入るのは早いと判断しているが、前期計画の4地域の再編を進める中で、中学校の再編が必要となり、豊里地域にも影響が出ることとなった時には豊里地域でも学校再編準備委員会を設置することになる。

学校再編の詳細は、市ホームページに掲載しています。

URL (<https://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/kosodate/kyoikuinkai/saihensebi/index.html>)

※ 右のQRコードからもアクセスできます。



学校再編準備委員会の設置について

教育委員会は、各地域の実情を踏まえた学校再編を進めるため、各地域に学校再編準備委員会（以下「準備委員会」という。）を設置します。

● 委員の構成

- 1 小中学校児童生徒の保護者の代表者
- 2 学校運営協議会の代表者
- 3 行政区長会等の代表者
- 4 未就学児の保護者の代表者

※ 広く意見を頂くために委員以外の方にも準備委員会への出席をお願いすることがあります。

● 活動内容

準備委員会では、「地域別再編実施計画」策定のために、次の事項について検討し、教育委員会と合意形成を図っていきます。

- 1 統合の実施
- 2 再編新校の位置
- 3 統合の時期
- 4 通学支援
- 5 その他必要事項

● 設置時期

前期計画の地域（東和、米山、南方、津山）は、今後、順次設置を行います。後期計画の地域（迫、登米、中田、豊里、石越）は、現段階ではまだ先の取り組みになりますが、前期計画の地域の進捗状況によっては設置時期が早まる可能性があります。



学校再編の進め方（概要図）

